(2) 風水害

本市は，背山である六甲山系の風化が進んでいるため，豪雨が土石流を引き起こし，台風時には，高潮，高波による浸水被害を受けてきた。(室戸，ジェーン台風)

これまでで最も大きな被害を受けた災害は，昭和13年豪雨，通称「阪神大水害」と呼ばれるもので，この災害の概要は，「消防の沿革」に記載のとおりである。

こうした背景から，防災整備事業は，豪雨及び台風による水害，高潮，山崩れ対策を主体に推進され，「阪神大水害」の教訓を基に，国，県とともに六甲山系の砂防・治山施設と海岸部の堤防等の整備を進めてきたところである。

4 人口・面積

(1) 人 口

87,309人
(平成6年12月1日：住民基本台帳・外国人登録人口)
75,032人
(平成7年国勢調査)
81,211人
(平成7年12月1日：住民基本台帳・外国人登録人口)
83,838人
(平成12年国勢調査速報値)

(2) 管轄面積

総面積 17.31k㎡
東西 約2.5km 南北 約8.3km (震災時)
総面積 18.57k㎡
東西 約2.5km 南北 約9.6km (現在)

Ⅱ 地震の概要

1 地震の発生 (平成7年1月17日 大阪管区気象台発表)

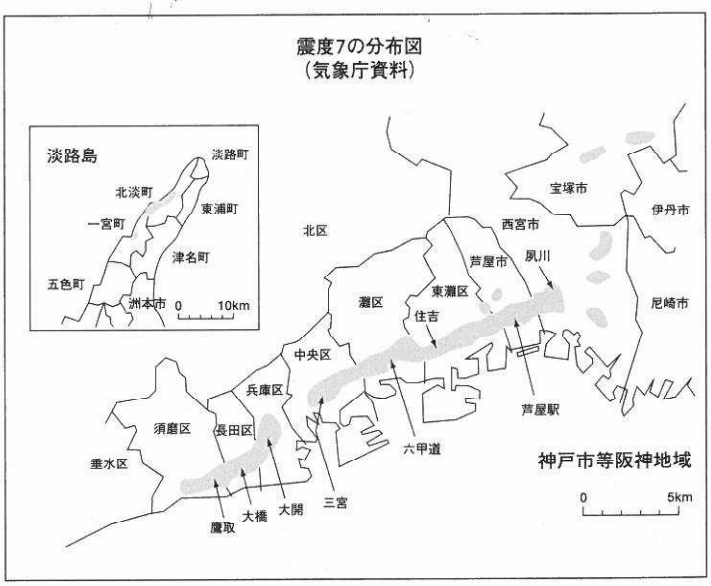
・発生年月日 平成7年1月17日(火) 午前5時46分
・震源地 淡路島北部(北緯34度36分 東経135度02分)
・震源の深さ 16km
・規模 マグニチュード7.2
・津波 なし

2 各地の震度

この地震の震度は，当初，神戸と洲本で震度6を観測したほか，近畿一円で震度4～5以上を観測するなど東北から九州の広い範囲にかけて有感となった。

また，気象庁は，17日当日に地震機動観測班を淡路島，神戸市及び周辺市の被害状況調査を実施した結果，本市のJR芦屋駅付近及び三条町の一部，山手町の一部を含む地域が「震度7 (激震)」であることが2月7日に発表された。

震度7の分布図
(気象庁資料)



「震度7 (激震)」は，昭和22年の福井地震後に新設されたが，「家屋の倒壊が30%以上に及び，山崩れ，地割れ，断層などを生じる」地震動とされ，被害状況を調査してから判定するため，発表に時間を要したが，「震度7 (激震)」が初めて適用された。